みす城太郎　相模原市議会だより　No.7

議　会　報　告

城熱通信スクラム

発行日　令和３年４月
発　行　市民民主クラブ
責任者　三　須　城太郎
相模原市中央区中央2-11-15
☎042-769-8312

令和3年相模原市議会定例会3月定例会議が2月15日（月）から3月24日（水）までの38日間をかけて開催されましたのでご報告致します。3月の議会は次年度の予算案を審議する議会です。一般会計は前年度と比較し、約83億円減額計上（2.7%減）されました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人住民税が約46億円の減収、法人市民税が約15億円の減収となったことなどから、市税全体では約73億円の減収となったものが主な要因です。また、扶助費については、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活保護費の増加が見込まれることや、障害児者介護給付費等、教育・保育施設等給付費（施設型給付費、地域型保育給付費）の増加などにより、前年度比3.5%増加の963億円（33億円増）が計上されました。

※扶助費とは、社会保障制度の一環として生活困窮者、高齢者、児童、障害者等に対する様々な支援を行う経費です。

＜令和3年度 相模原市当初予算案＞

	令和２年度	令和３年度	増減率
一般会計	3,072 億円	2,989 憶円	2.7% ↘
特別会計	2,001 億円	1,990 億円	0.6% ↘
総額	5,073 億円	4,979 憶円	1.9% ↘

相模原市行財政構造改革プランの策定

今、本市財政状況は非常に厳しい状況となっております。これまで子育て・教育環境の充実、福祉施策、安全・安心に向けた取組、産業振興、中山間地域対策など市民生活に関わる様々な取組を進めてきました。特に子育て支援施策や福祉施策については、積極的に推進し環境整備などに力を入れてきましたが、扶助費が近年増加傾向にあり、財政を圧迫する要因の一つとなっております。これに加えて、公共施設の長寿命化事業費の増加や財政調整基金が残りわずかになっていることなど、様々な行財政運営上の課題に直面しております。このまま従来と同様の行財政運営を続けた場合、持続可能な都市経営はおろか、いずれは真に必要な行政サービスの提供すら困難となることが見込まれ、歳入規模に応じた行財政運営の構造を抜本的に改革する必要があることから「相模原市行財政構造改革プラン」が策定されることとなりました。

＜主な取り組み＞

【歳出削減策】

これまで実施することとしてきたまちづくり事業等について、計画期間中に事業を「推進する」「検討・調査は実施する」「検討・調査は実施しない」の3段階に分類し、見直しを実施するものや、総事業費20億円以上の改修・更新を予定している事業施設の改修・更新コストの削減または、財源確保策の検討、また、社会的ニーズの変化、代替性、公平性、機能重視、利用状況、老朽化の状況等を勘案し、サービス提供を継続する必要性や効果が低い施設の集約（統合）、譲渡または廃止を行うなど、既存の公共施設等の見直し等も実施され、各種イベントや大会、講演会等の見直しなどが施行されます。

【歳入確保策】

持続可能な行財政の構築に向け、戦略的・効果的な政策による市税収入の確保や国・県の補助金及び交付金など、事業実施に必要な特定財源を積極的に確保することをはじめ、また、効率的かつ効果的な公共サービスの提供や公共施設等の整備を実施するために、民間の資金や創意工夫の活用に向けた検討などを行っていくものとしております。

「相模原市行財政構造改革プラン」については、内容への賛否など市民の方から様々な意見を頂いております。様々な公共施設の廃止や集約、改修の見直しなどにより、その施設を利用している方にとっては不便なこともあり、趣味や競技などを継続することが困難になる場合もあるかと思います。しかし、このままの行財政運営では、真に必要な行政サービスを受けることができなくなったり、市税を上げざるを得なくなる可能性もあります。そうなると今の子供たちが将来負担を背負うことになります。目先のことだけではなく、中長期的な財政状況を考え、子供たちや本市の未来のために、そして、笑顔と希望があふれる市政の実現に向けて、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

一般質問

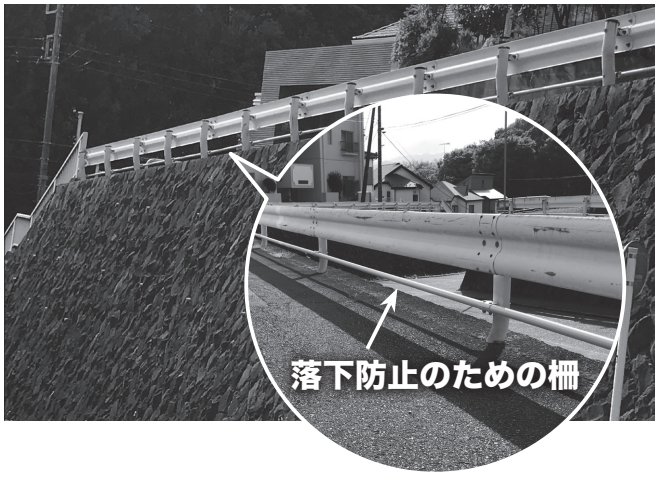
一般質問については、市民民主クラブからは、桜井議員、小田議員、関根議員、鈴木議員、小池議員、三須の6名がそれぞれの内容で市民の方々に直接関わる諸課題について質疑を行いました。尚、本会議の詳細については、5月1日に発行されます「さがみはら市議会だより213号」をご参照ください。

みす城太郎市議会議員一般質問内容

1．スポーツ振興について
（1）ホームタウンチームへの更なる支援について
（2）子供たちの体力・運動能力の向上について
2．キャンプ場の利活用について
（1）コロナ禍における利用状況について
（2）更なる利用者促進に向けて
3．公共施設について
（1）スポーツ施設の安全対策について
（2）文化施設の環境整備について
4．火葬場について
（1）合理的な運営について
（2）民間活力の導入について

危険箇所を改善

上溝丸崎田島公園付近に見通しの悪いカーブがあり、近隣住民の方々より相談を受けておりましたが、カーブミラーを設置して頂きました。また、横山公園付近歩行者用階段手前の道路ですが、ガードレールの下に隙間があり、非常に危険でしたので落下防止のための柵を取り付けて頂きました。市内には、危険箇所などがまだまだ沢山あります。引き続き、安心・安全なまちづくりに尽力してまいります。



※地域で何かお困りのことがあればご相談下さい。